

3月は、別れのとき。「心残りのないようにしっかりとまとめをして別れたい」という思いは、教師も子どもも同じです。授業での学び方や学級での自主的な活動など、学級の成長を子どもと共にまとめたり、次年度以降の学級や自分の姿を考え合ったりして1年間を締めくくり、よい別れが次への飛躍につながるようにしたいものです。



<小学校>

別れを惜しみつつ、次への期待に胸を膨らませる学級じまいを！

級友との楽しかった出来事や様々な思い出を振り返り、別れを惜しみつつ、次への期待に胸を膨らませる学級じまいができるといいですね。

そのために…

- ① 学級での思い出を、スライドショーなどを見ながら全員で振り返る。
- ② 短くてよいので、全ての子どもに「思い出」と「希望」を語る時間を確保する。

遠足、運動会、音楽会、日頃の様子…撮りためた写真や動画を短時間のスライドショーにまとめると、効果絶大！少しだけ“ずく”を出しましょう。

ムービーメーカー(Windows)のソフトを使うと、写真や動画、BGMを置くだけで、簡単にスライドショーを作ること



心にとまる言葉で、心がけてほしいことを確認してはどうでしょうか

暖かさが日に日に増す春休みは、行動も活発になり、思いがけない事故に遭う危険性も高まります。子どもたちには、安全に楽しい休みを過ごしてほしいものです。

そこで、生活上、留意してほしいことは印象的な言葉にして伝えてはどうでしょうか。例えば、下のように「春休みの、はひふへほ」とまとめてみます。

- は 早寝早起き
- ひ 火遊びしない
- ふ 不審者注意
- へ 勉強します
- ほ 本気でします お手伝い



個別に指導が必要な児童には、本人や保護者と話し合い、その子に合った過ごし方を考えることも大切です。

<中学校>

思い出に残る学級じまい、別れの工夫

進級に伴うクラス替えなど、卒業する3学年ではなくても、別れの時期がきます。そこで、この別れの時期に向け、クラスとしてどんなことができるか以下のようなことをやってみてはどうでしょうか。例えば…

- ・クラスの一人一人が、学級に対してのメッセージを書いた登校日数カウントダウン日めくりカレンダーをつくる。

31

朝の学活時に、その日のカレンダーを書いた生徒とやり取りしたり、カレンダーに書かれている言葉を紹介したりしていくことで、別れの日までに学活時に全員とやり取りができます。

- ・学級長と協力してクラスの十大ニュースを集計し、学活時にそのニュースを一つずつ扱う。
- ・クラスとしての思い出を共有する。

十大ニュース

4月にいいスタートができる春休みに

年度末は、卒業、進級、クラス替えなど、新しい生活への期待と不安が交錯する時期です。また、解放感から春休み中の生活のリズムが乱れがちになることも考えられます。新年度、よいスタートができるように、春休みの過ごし方について指導しましょう。

【学級での指導(例)】

春休みの過ごし方を「春休みのかきくけこ」等で印象的に伝える。

- か 学習計画の充実
- き 規則正しい生活
- く 苦しい、つらいと感じたらすぐ相談
- け 携帯、スマホ、インターネットの利用に注意
- こ 交通事故、特に自転車事故に注意

【個別の指導(例)】

春休みの生活や学習に不安がある生徒には、事前に本人や保護者と相談をし、その子に合った計画を立てられるように支援しましょう。